

事業群評価調書（令和7年度実施）

基本戦略名	3-2 地域の特徴や資源を活かし、夢や希望の持てるまちを創る	事業群主管所属・課(室)長名	土木部 都市政策課	真鳥 喜博
施策名	3 持続可能で魅力ある都市・地域づくり	事業群関係課(室)		
事業群名	② 長崎市中央部のランドデザイン	令和6年度事業費(千円)	※下記「2. 令和6年度取組実績」の事業費(R6実績)の合計額	
				6,236

1. 計画等概要

(長崎県総合計画チェンジ&チャレンジ2025 本文)

長崎市中央部では、都市・居住環境整備基本計画を策定し、新幹線開業に向けたまちづくりを進めてきましたが、さらにその先を見据えて、まちづくりの方向性を示すランドデザインや重点4エリアにおける整備計画を見直し、計画的な都市基盤整備を進めるとともに、長崎スタジアムシティプロジェクト等のまちづくりに貢献する民間都市開発への支援を検討します。

(取組項目)

i) 長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整
ii) 長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進
iii) 長崎市中心部の交通結節機能の強化

事業群	指 標		基準年	R3	R4	R5	R6	R7	最終目標（年度）	(進捗状況の分析) 令和2年に指定を受けた都市再生緊急整備地域「長崎中央地域」において、一定の要件を満たす民間都市開発事業に対し減税措置等を行うことで開発を支援する。 令和3年に「長崎スタジアムシティプロジェクト」と「新長崎駅ビル開発プロジェクト」が民間都市再生事業計画に認定された。 引き続き、開発計画のある民間事業者と協議・調整等を行い、優良な都市開発の促進を図っていく。
	長崎都心地域における民間都市再生事業計画の認定数（累計）	目標値①		2件	2件	2件	2件	4件	4件（R7）	
		実績値②	0件（R元）	2件	2件	2件	2件		進捗状況	
		達成率②／①		100%	100%	100%	100%		順調	

2. 令和6年度取組実績（令和7年度新規・補正事業は参考記載）

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	事業費（単位:千円）			事業概要 令和6年度事業内容及び実施状況 (令和7年度新規・補正事業は事業内容)	指標（上段：活動指標、下段：成果指標）				令和6年度事業の成果等	
				R5実績	うち一般財源	人件費 (参考)		主な指標	R5目標	R5実績	達成率		
				R6実績					R6目標	R6実績			
				R7計画					R7目標				
				事業実施の根拠法令等									
				事業期間	法令による事業実施の義務付け	県の裁量の余地がない事業			他の評価対象事業 (公共、研究等)				
所管課(室)名			事業対象										
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業	1,578	1,578	9,957	●事業内容 長崎駅周辺エリア全体に係るデザインルールづくりや、エリア内で整備される主要な建築物及び基盤施設相互間のデザイン調整を行う。 ●実施状況 長崎駅周辺エリアデザイン調整会議で諮られた案件について、エリア内で整備される民間施設2件、公共施設1件のデザイン調整を行った。 県、長崎市、民間事業者	【活動指標】	2	1	50%	●事業の成果 ・令和6年度は会議に諮る案件がなく未開催であったが、令和7年度に向けた個別相談等を行った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎都心地域である長崎駅周辺地区において、デザイン調整を行い、引き続き周辺環境と調和の取れた都市空間を創出している。	
				442	442	5,058			1	0	0%		
				1,997	1,997	3,939			1				
			H21-	—				【成果指標】	22	24	109%		
								26	24	92%			
都市政策課	—	—	—		26								
取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業	11,837	11,837	11,489	●事業内容 美しく魅力ある「港まち」をつくり、後世に引き継ぐ財産とするため、アーバンデザイン専門家会議において、環長崎港周辺で実施されるプロジェクトのデザイン調整を行った。また、取り組みを後世に引き継ぐため、設立当初からの取組をまとめたレビュー冊子の配布を行った。 ●実施状況 R6年度は、専門家会議を1回、持回り相談を24回実施した。 県、長崎市、民間事業者	【活動指標】	11	15	136%	●事業の成果 ・事業ごとのデザイン調整の時期に合わせてスケジュール管理を行い、必要に応じてオンライン開催を実施しデザイン調整を行った。またレビュー冊子の配布について、関係各所、県内中学・高校、大学、図書館等へ配布を行った。 ●事業群の目標達成への寄与 ・長崎都心地域を含む、長崎港周辺地域において、デザイン調整を行い、魅力的な都市景観を形成している。	
				5,794	5,794	3,501			11	25	227%		
				7,121	7,121	3,151			11				
			H10-	—				【成果指標】	1	1	100%		
								1	1	100%			
			都市政策課	—	—	—			1				

取組項目 iii	○	3	第一種市街地再開発事業補助金（大黒町地区）				●事業内容 県営バスターミナルを含む周辺地区は、長崎駅前に位置し、都市間交通の拠点であるが、建物の老朽化と耐震不足に加え、ターミナル機能が不足しており、再整備が喫緊の課題である。このことから、市街地再開発事業により、土地の合理的かつ健全な高度利用による魅力的な都市空間の創出、建物の耐震化・耐燃化による防災性の向上、高速バスターミナルの機能更新による利便性の向上を語るもの。 ●実施状況 令和7年度中の都市計画決定を踏まえ、準備組合により調査設計業務が進められる。	【活動指標】 再開発事業の進捗率（%）				—		
				52,000	5,200	12,605				14				
			(R7新規)R7-13	—										
			都市政策課	—	—	○		県、長崎市、民間事業者	【成果指標】 施行者、地元地権者、関係機関と行う協議会の開催回数（回）	12				

3. 実績の検証及び解決すべき課題と解決に向けた方向性

i 長崎駅周辺区域の機能的で魅力ある都市環境創出を目的とした、専門家と事業実施機関によるデザイン検討・調整	
●実績の検証及び解決すべき課題 長崎駅周辺エリアデザイン調整会議を通じて、民間の共同住宅や稲佐立体交差などについて周辺環境と調和したデザイン調整を実施してきた。長崎駅周辺では、今後も大黒町の再開発や長崎中央郵便局の建て替え等の公共及び民間施設の整備が予定されていることから、令和7年度も継続的なデザイン調整が必要である。	●課題解決に向けた方向性 長崎駅周辺では、公共及び民間施設の整備が予定されていることから、引き続き、円滑なデザイン調整を進める。
ii 長崎港周辺におけるアーバンデザインシステムを活用した、先導性が高く、景観的に優れた施設整備の推進	
●実績の検証及び解決すべき課題 これまで20年以上に亘り、先導性が高く、景観的に優れた施設整備のためのデザイン調整を行ったことにより、グッドデザイン賞を6度受賞するなど、全国的な評価を得てきた。その一方で専門家の高齢化が進み、若い委員の起用が必要である。	●課題解決に向けた方向性 アーバンデザインシステムで築いてきた思想について、専門家の意見を踏まえながら、同システムの意義や立ち上げの経緯、これまでの成果・実績を取りまとめ、次の世代の専門家等へ引き継いでいく。
iii 長崎市中心部の交通結節機能の強化	
●実績の検証及び解決すべき課題 長崎駅周辺の交通結節機能の強化に向け、関係者と検討を行い、国・県・市で令和7年3月に「長崎駅前交通拠点の整備方針」を策定し、公表した。	●課題解決に向けた方向性 事業計画の策定に向け、引き続き関係者と調整を進めていく。

4. 令和7年度見直し内容及び令和8年度実施に向けた方向性

取組項目	中核事業	事業番号	事務事業名	令和7年度事業の実施にあたり見直した内容	令和8年度事業の実施に向けた方向性		
			事業期間		事業構築の視点	見直しの方向	見直し区分
			所管課(室)名				
取組項目 i	○	1	都市再生推進事業	—	—	今後も公共施設や長崎駅周辺土地区画整理事業区域内等における民間開発が進むと想定されることから、引き続き、長崎駅周辺エリアデザイン調整会議において周辺環境と調和したデザイン調整を円滑に進めていく。	現状維持
			H21-				
			都市政策課				
取組項目 ii	○	2	環長崎港地域都市再生調整事業	—	—	今後も、元船地区の整備事業や松が枝国際観光船埠頭の2バース化、県庁舎跡地など長崎港周辺で整備される施設についてデザイン検討を行い、魅力的な都市景観の形成を進めていく。	現状維持
			H10-				
			都市政策課				

注：「2. 令和6年度取組実績」に記載している事業のうち、令和6年度終了事業、100%国庫事業などで県の裁量の余地がない事業、公共事業評価対象事業、研究事業評価対象事業、指定管理者制度導入施設評価対象事業については、記載対象外としています。

【事業構築の視点】	
①	視点① 事業群としての成果目標に対し、特に効果が高い事業の見極め、事業の選択と集中ができているか。
②	視点② 指標の進捗状況に応じて、その要因分析及びさらに高い効果を出すための工夫、目標に近づけるための工夫を検討・実施できているか。
③	視点③ 人員・予算を最大限効果的に活用するための事務・事業の廃止・見直しができているか。
④	視点④ 政策間連携により事業効果が高められないか。事業群としてリーダーの明確化、関係課の役割分担・協力関係の整理ができているか。
⑤	視点⑤ 県と市町の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑥	視点⑥ 県と民間の役割分担・協力関係の整理・認識共有ができているか。
⑦	視点⑦ 戦略的に関係者の行動を引き出せているか。
⑧	視点⑧ 国制度等の最大限の活用が図られているか。国へ政策提案（制度改正要望）する必要はないか。
⑨	視点⑨ 経済情勢等、環境の変化に対応した効果的・適切な見直しとなっているか。
⑩	その他の視点